

のびのび通信 第80号

2013年2月



今月の活動は、はじめ

てのメニューです。段ボールで、ハウス・電車・自動車を組み立てて、色づけして仕上げました。それぞれのキットには、「対象年齢〇歳」とありますが、その年齢をはるかに超える大人たちも悪戦苦闘！

「難しい！」

の叫びに近いような声があちらこちらから聞こえてきま

す。でも、息をきりながら、汗をかきながら、

ハウス・電車・自動車のキットは、それぞれ3つずつです。事前調査によると、ハウス希望者が多い様子！当然、自分が希望するキットを作れないことも考えられます。そんな事態を想定して、当日までの情報提供が肝心ですね。



案の定、ハウス3セットに対して希望者4。

ここで、いきなりクジでは、納得いかないものです。残る電車と車、こちらに変更することも視野に置いてほしいものですね。クジなどの運で決めると、最も好まないキットになる可能性もあるので、第2候補で手を打つことも大切な選択です。今回も、数名が、じっくり考え、自己判断で第2希望に移動したので、誰ひとりパニックになることなく自分のキットを手にすることができました。

組み立ては、切り離れた部品がどの部分かわからなくなって、手間取るケースが多くあり、ここに、ワークシステムを応用すべきだったと反省です。色塗りは、イラストの見本を用意していましたが、自由な発想で、絵あり文字ありの楽しいハウス・電車・自動車の完成です。

はじめての活動も、戸惑いそうな場面を想定し、事前に必要な情報を提供することで、安心して楽しめることを確かめることができた活動でした。



僕だけの部屋だよ！

【セミナー速報】 一生懸命作っているのに、小さい子が勢いあまって、ちょっと落書きなんて場面がありました。「小さい子は仕方ないから」と許せるお兄ちゃん、お姉ちゃんが素敵でした^^ みんな、成長してるんだな〜と、微笑む大人たちです。

その成長には、彼らの障害に対する自己認知が不可欠と「のびのび」では考えています。そのことを、多くの方に知っていただきたく、今年の夏季セミナーは、「発達障害の告知と自己認知支援」をテーマに企画しています。

<予定>平成25年7月28日(日) 講師：服巻智子先生

発行：発達障害児支援サークル「のびのび」